



新・変圧器で省エネシリーズ

新シリーズ
第5回



今夏は電力需要の逼迫により一般家庭から事業者まで、電力使用の制限が求められました。そして、これから寒くなる冬期間においても電気は多く消費されますので、継続的な節電への取組みが必要です。



配電用変圧器は高効率機器を導入することによって、省エネ効果をあげることができます。特に長年使用した変圧器を**トッランナー変圧器**、または**アモルファス変圧器**に更新することで大きな省エネ効果が期待できます。



これからも企業には継続的な節電、省エネルギー対策が求められますよね。



油入タイプを例に、省エネ比較のグラフにしてみました。

三相1,000kVA、50Hz、等価負荷率50%の例(当社比)

⇐損失比較⇐ 電力量(MWh/年) 電気料金(千円/年)

トップクラスの省エネタイプ
SUPERX SPシリーズ

待機電力

無負荷損失
480(W)



負荷損失
1,338(W)

16MWh/年

-45%

175千円/年

トッランナー基準値

超省エネ定番タイプ
SUPERX SHシリーズ

無負荷損失
390(W)



負荷損失
1,613(W)

18MWh/年

-39%

193千円/年

超省エネ小型軽量タイプ
SUPERX COシリーズ

無負荷損失
310(W)



負荷損失
2,550(W)

25MWh/年

-13%

276千円/年

トッランナー標準タイプ
Superトッランナー
(JIS C4304-2005適合)

無負荷損失
1,237(W)



負荷損失
2,051(W)

29MWh/年

317千円/年

約30年前の
けい素鋼板変圧器
1980年の代表特性値

無負荷損失
1,800(W)

負荷損失
2,825(W)

41MWh/年

+40%

446千円/年

〈計算例〉

■年間損失電力量料金(千円/年)=(無負荷損(W)+負荷損(W)×(等価負荷率)²)÷1,000×365(日)×24(h)×単位電力料金(11円/kWh)÷1,000
■上記数値は2011年4月時点のものを使用

各シリーズの特長

油入タイプ



SUPER X SPシリーズ

XSPシリーズは油入タイプのフラッグシップモデルとして、最高効率の性能を有します。



SUPER X SHシリーズ

今年発売したXSHシリーズはこれまでのXSシリーズを、更なる軽量化と高効率をめざしモデルチェンジ。
今年の電設工業展では「国土交通大臣賞」を受賞しました！



SUPER X CXシリーズ

XCⅡシリーズはコンパクト型としてラインアップし、キュービクル式高压受電設備にも収納可能な小型軽量タイプです。

モールドタイプは絶縁油を使用していないので、防災面で高い信頼性を要求される設置箇所に適しています。
(病院、高層ビル、地下施設など)



SUPER X MSシリーズ

XMSシリーズはモールド変圧器において最高効率を発揮します。



SUPER X MCシリーズ

XMCシリーズは小型軽量化をめざした、防災タイプ変圧器です。
2007年の電設工業展で「東京都知事賞」を受賞！



モールドタイプ

いろんな変圧器があるのね！？

私の会社ではどの機種にしたらいいのかしら？

日立のアモルファス変圧器は、進化しつづけ、お客様のニーズに対応するよう、ラインアップしています。



ご相談いただければ、設備の状況をチェックして、お客様へ最適な設備更新のご提案をいたします。

さっそくチェックをお願いします！
どれだけ節電になるのかしら。

ご心配いりません！
受配電設備の節電・省エネ施策への取組みに日立産機システムの変圧器は活躍します。

Xまん

アモルファス変圧器と「H-NET」のコンビで上手に節電しよう！



日立産機システム変圧器ホームページ

<http://www.hitachi-ies.co.jp/products/trans/index.htm>